

## 戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

### めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

### 戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	実績						予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	84,275	千円	738,225	千円	299,746	千円	315,745	千円	396,742	千円
3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,007,261	千円	843,477	千円	497,835	千円	564,819	千円	554,051	千円
計	1,091,536	千円	1,581,702	千円	797,581	千円	880,564	千円	950,793	千円

※H29年度以前の額は完了した戦略事業も含む

### 戦略プロジェクト3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

#### 【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

#### ◆成果指標3A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
49.2	44.4	50.0	50.8			60.0

#### ◆成果指標3A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
5.7	6.3	6.1	7.2			8.0

#### <30年度の方針>

戦略プロジェクト3A「社会全体で子どもを産み育てる環境づくり」は、子育て応援のまちの実現をめざし、子育て環境の充実、子育て世代の更なる定住促進を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」では、保育施設の待機児童を解消するため、引き続き小規模保育施設や事業所内保育施設等の運営支援を行うとともに、企業主導型保育施設の開設促進を目的としたPR等新たなPR等を行うなどして、安心して保育サービスが利用でき、就労と子育てを両立できる環境整備を進める。

◆推進プログラム②「子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実」では、「小中学校学習サポート事業」を継続するとともに、「小中学校外国語教育支援事業」では、小中学校に派遣する外国語指導助手を増員するなど、更なる外国語教育の充実を図る。また、「児童生徒体力向上事業」では、大学との連携により、各学校への体力向上の取組の普及を図る。

◆推進プログラム③「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」では、通年型施設の子育てひろば「ぽこ あ ぽこ」や全市的に展開している出前型の「地域あそびのひろば」における子育て支援事業の充実を図るなど、引き続き地域における子育て支援を推進する。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・待機児童解消対策の推進（小規模保育施設等の民間事業者への運営支援及び企業主導型保育施設の開設促進のためのPR等）

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業	入所できた児童数	77 人	159 人	168 人	
	事業費	156,909 千円	249,189 千円	323,903 千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語教育の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全ての中学校で放課後の補充的学習を実施
- ・小学校外国語教育を全学年で実施
- ・大学との連携により、「走り方教室」等を実施
- ・各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣回数	3,627 回	3,665 回	3,470 回	
	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	384 回	345 回	371 回	
	事業費	9,243 千円	9,329 千円	8,939 千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	83 %	80 %	83 %	
	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	96 %	95 %	98 %	
	事業費	635 千円	679 千円	653 千円	
小中学校外国語教育支援事業	外国の人とコミュニケーションをとってみたいと考える児童生徒の割合	61 %	100 %	100 %	
	事業費	27,944 千円	28,064 千円	34,754 千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- より身近な地域での子育て支援事業の拡充・展開
- 多世代交流の場の提供と推進

<取組の概要>

- ・「ぼこ あぼこ」でのソフト事業の充実
- ・あそびのひろば事業の充実や、ボランティアの育成など、さまざまな運営主体への支援の検討
- ・子育て支援センター等における情報提供、交流事業
- ・あそびのひろばにおける多世代交流事業の実施

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延べ利用者数	92 千人	80 千人	80 千人	
	託児延べ利用者数	537 人	900 人	700 人	
	事業費	24,170 千円	25,496 千円	25,881 千円	
あそびのひろば事業	あそびのひろば参加組数	1,246 組	1,500 組	1,300 組	
	事業費	2,825 千円	2,988 千円	2,612 千円	

戦略プロジェクト3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6	66.6	65.6			74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7	80.5	76.5			78.0

<30年度の方針>

戦略プロジェクト3B「駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）」は、引き続き、野幌駅周辺の基盤整備や市内バス路線の再編、大麻地区（大麻・文京台）におけるライフステージに合わせた住みかえ支援などの住環境向上のための取組を進めるほか、人口減少対策としての定住促進を図るため、以下のとおり事業を進めていく。

◆推進プログラム①「様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上」では、引き続き江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）を着実に推進することにより、駅周辺における利便性の向上を図る。

◆推進プログラム②「交通ネットワークの充実」では、持続可能な公共交通網を形成するため、地域公共交通網形成計画・地域公共交通再編実施計画を作成し、市内バス路線の再編や利用促進に関する事業を推進する。

◆推進プログラム③「高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実」では、大麻地区を活動拠点として、地域おこし協力隊を活用した住みかえ相談窓口を継続するとともに、住み替えニーズの把握やホームページ等による情報発信などを行う。また、親と同居・近居する世帯や多子世帯への住宅取得等を支援することにより、転入人口の増加及び転入人口の抑制を図る。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業費進捗率(累計)	80%	90%	99%	
	事業費	448,183千円	495,245千円	472,553千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- 利用者の利便性とバス事業者の採算性のバランス構築
- バス交通の利用促進
- バス利用に関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・地域公共交通活性化協議会等の開催
- ・地域公共交通網形成計画・再編実施計画の作成
- ・市内バス路線の再編
- ・バスの利用促進、利用啓発等

事務事業	指標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	610千人	523千人	523千人	
	事業費	4,578千円	12,927千円	5,521千円	

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住み替えニーズの把握
- 高齢者の住み替え先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導



<取組の概要>

- ・地域おこし協力隊を活用した大麻地区の住みかえ相談窓口の継続と交流農園、セミナーを実施
- ・アンケート等による住みかえニーズの把握
- ・ホームページなど情報発信内容の充実
- ・親と同居・近居するための住宅取得等への支援を実施するとともに、多子世帯の住宅取得を支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度(予算)	H30年度(予算)	備 考
大麻地区住環境活性化事業	住まい相談件数	15 件	15 件	30 件	
	事業費	5,174 千円	6,163 千円	5,977 千円	
住宅取得支援事業	支援により定住した世帯数	150 世帯	187 世帯	260 世帯	
	事業費	39,900 千円	50,484 千円	70,000 千円	